
新型コロナウイルス感染症予防対策
自動車事業部ガイドライン

富士交通株式会社

① 車内の感染防止対策の確認及び対処

- ・ 点呼までに在庫車両の消毒実施の確認
- ・ 運転席の感染防止対策確認
- ・ 消毒液、除菌液、清拭消毒用具などの搭載のチェック
- ・ 点呼場には、アクリル板や透明ビニールカーテン等を設置し、換気を徹底することにより「三つの密」を避ける。



<コロナ感染防止対策案内>



<点呼の実施>



<車内用消毒液>



② 始業・終業点呼

運行管理者は、特に次の事項に留意して、点呼を実施する。

- ・ 対面による点呼実施には、適切な距離を保つ
- ・ 運行管理者、運転士共にマスク着用を徹底
- ・ うがい、手洗いの励行
- ・ 手指消毒を実施し、感染予防対策を講じるよう徹底する。
- ・ 健康チェック……検温、疲労、健康異常、風邪症状の有無確認と記録
 - * 発熱、咳症状などがあれば、自宅待機とする。
- ・ アルコールチェック……検知器などこまめな除菌を実施

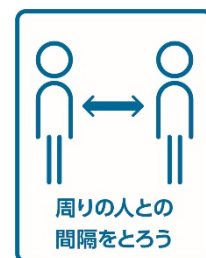
③ 運行時における対応

運転士・ガイド

- ・ 運転中、アナウンス中であってもマスク着用を徹底

旅行会社・お客様へのお願い

- ・ 乗車前の検温へのご協力
- ・ マスクの着用のご願い
- ・ 車内除菌、車内消毒、車内換気のご協力
- ・ 大声での会話の手控え
- ・ 消毒液での手指消毒の徹底
- ・ 利用者間の一定距離の確保
- ・ ソーシャルディスタンスへの取組
- ・ 車内ゴミのお持ち帰りのご協力



④ 車内換気について

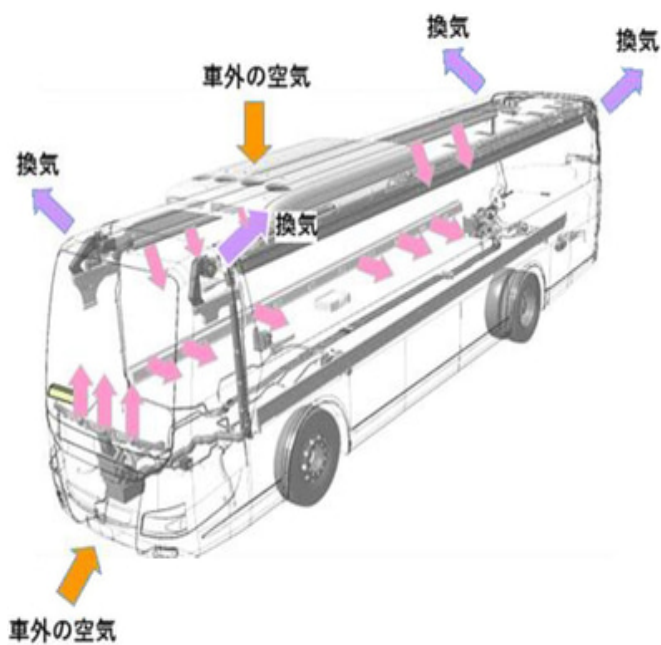
- ・ エアコンによる外気導入や窓開けなど、徹底した車内換気を実施します。
- ・ 安心してご乗車頂けるように「除菌噴霧器」を全車両に搭載しています。
 - * 有人車両での噴霧は、いたしません。
- ・ 利用者間の一定距離を確保し、お客様と乗務員が安心できる車内環境を確保します。

ハイクロミスト(次亜塩素酸水溶液)噴霧器

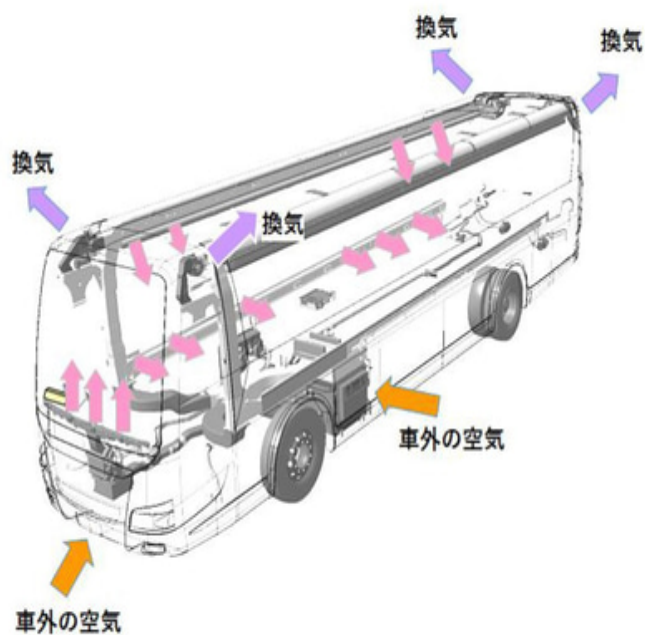


🌀大型バスは、5分で室内換気完了🌀

大型観光バス・天井A/Cタイプ



大型観光バス・床下A/Cタイプ



⑤ 体調不良時の対応

乗務中の発熱や体調不良を認めた時は、速やかに運行管理者へ連絡し、指示を仰ぐ。体調不良を認めた時点で、運行は中止とする。

⑥ 仕業終了後の対応

- ・健康チェック……検温、咳症状、呼吸困難などの確認
- ・車内消毒、清掃の実施
 - ア 手すり等利用者が頻繁に手を触れる箇所や運転席周りを入念に消毒
 - イ 窓開け換気の実施
 - ウ 除菌剤の噴霧
 - エ 清掃後の手洗い、手指消毒の徹底

⑦ 宿泊時の感染防止

- ・手洗い、うがい、手指消毒の徹底
- ・宿泊施設内のマスク着用
- ・健康チェックの実施（検温、風邪症状の有無など）